第十六回　工業会写真同好会の報告　　―〝わたらせ渓谷鉄道〟の紅葉―

２０２３年１１月６～７日　厚木支部　岡村守之

２０２３年１１月６日（月）曇り

前日まで数日続いた行楽日和と打って変わって当日は曇天、参加者７名は１０時半頃にわたらせ渓谷鉄道『わ鉄』の大間々駅に集合した。　此処から普通電車で通洞（つうどう）駅まで移動し、後発する人気のトロッコ電車を待ち構えて撮影する事とした。　沿線の紅葉の状態は今夏の猛暑の影響が残り４～５分程度、窓外の景色を眺めて談笑している内に 11 時 34 分に通洞に到着。　お目当てのトロッコ電車到着迄の５０分間を利用して徒歩５分の距離にある「足尾銅山観光」を訪れ、入坑料 830 円を払い鉱山トロッコに乗り坑内見物をした。　其の後通洞の街中散策をしながら通洞駅に戻り、暫く駅構内を撮影していると件のトロッコ電車がやって来た。　急いで紅葉と電車を組合せてシャッターを切った。

通洞駅　左から岡村、倉林、田辺、田村、川島、石崎、望月

次に一駅先の足尾駅へ、更に３駅戻り沢入（そうり）駅と移り撮影を続けた。　そして沢入駅ホームに隣接する渡良瀬川沿いの「沢入駅ふれあいパーク」に向かった。　そこには紅葉した木々が散在しており、草木ダム末端を横目に見ながらゆっくりと撮影する事が出来た。　それから沢入駅に戻り待合室で時間待ちをしていると、上りの電車が見えて来たので、入線する瞬間を撮ってから桐生行に乗車して初日の撮影を終了した。

JR 桐生駅付近のホテルでチェックインした後、駅近の小料理店で美味しい料理と芋焼酎の反省会が始まった。久々のメンバー再会で大盛り上がりして、更にホテルでの二次会もこなして一日目を完了した。

２０２３年１１月７日（火）雨のち晴れ

午前中は雨なので協議の末、群大工業会本部を訪問する事になった。　始業時間に合わせる為ホテルから徒歩で向かい、大学正門受付で本部事務所に直前連絡を入れて亀井常務理事と面会した。　急な訪問にもかかわらず亀井氏はじめ事務職員の方から丁重な応対をして頂けた。　暫し歓談の後に同窓会記念館をご案内頂き、往時を回顧しながら展示品や講堂を撮影させて頂いた。　工業会の皆様有難うございました。

工業会本部にて

後列左から　荘司さん、渡辺さん、石崎、田辺、倉林、岡村
前列　〃　　亀井常務理事、望月、川島

小一時間の訪問を終えて大学正門前バス停から桐生駅に戻り、個別予定がある一部メンバーと別れて残り４名で大間々駅近くの高津戸峡を目指して上毛電鉄に乗車した。　雨上がりの中を上毛赤城駅から歩き始め約２０分で高津戸峡基点の赤色の高津戸橋に到着。　ここからは渡良瀬川沿いに続く渓谷に遊歩道が設けられており、太陽も顔を出してくれたので渓谷美と紅葉のコラボレーションを楽しむことが出来た。　渓谷には滝も有り進むにつれて対岸に岩肌と清流が現れ、紅葉との取り合わせで更に写欲がそそられた。　約２時間の撮影を終えて途中昼食を挟みながら再び東武赤城駅まで戻り、そこから特急りょうもう号に乗車して帰路に着いた。

最後に、常連の倉林氏はじめ参加メンバーのご協力で、幹事の労いを兼ねて行われた撮影会が充実して楽しく終了出来た事を感謝申し上げます。

今回の参加者（敬称略）：

望月　恭一（横浜支部）、倉林　弘行（平塚支部）、田辺　宏（同左）、川島　克之（川崎支部）
石崎　一嘉（厚木支部）、田村　雅男（同左）、岡村　守之（同左）

写真同好会第十六回撮影会

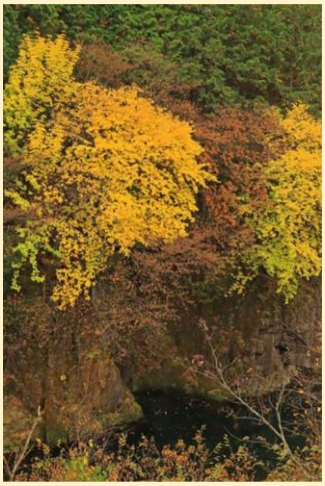
―わたらせ渓谷鉄道の紅葉―

通洞駅

田辺　宏

足尾銅山観光

川島　克之



足尾駅付近

岡村　守之

沢入駅ふれあいパーク

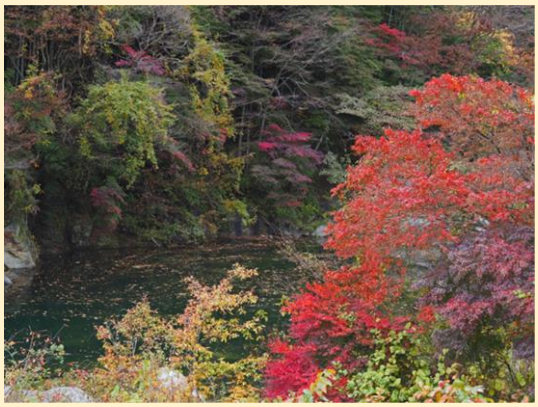
岡村　守之

沢入駅ふれあいパーク

倉林　弘行

沢入駅付近

石崎　一嘉



沢入駅ふれあいパーク

望月　恭一

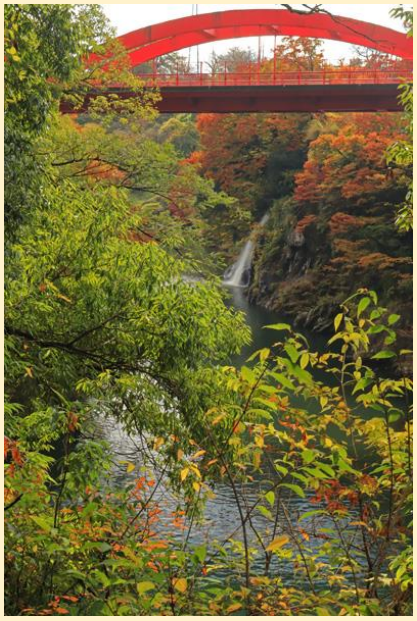
沢入駅

田村　雅男

写真同好会第十六回撮影会

―高津戸峡の紅葉―

石崎　一嘉

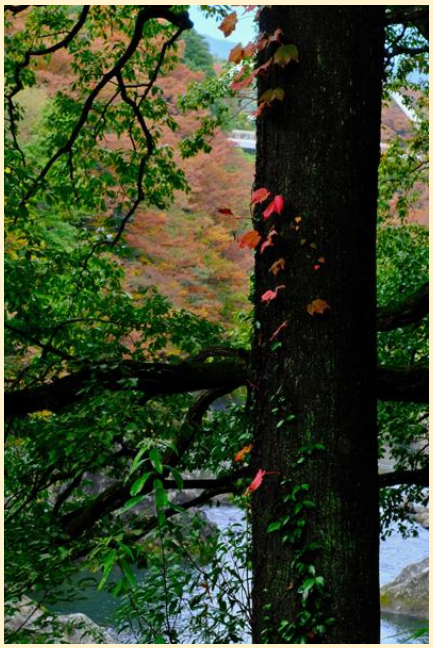


岡村　守之

倉林　弘行

石崎　一嘉

岡村　守之



田辺　宏